



江南の風

江南小学校 校長室通信
平成29年 6月 8日 発行
通算 第 6 号

教育目標 強い子になろう

修学旅行から見た6年生の姿

校長 花生 典幸

5月31日（水）から二泊三日の日程で、6年生の子どもたちは北海道への修学旅行に行っていました。

毎日が好天に恵まれて、というわけにはいきませんでした。大沼でのカヌー体験、函館山から望む夜景、そして函館の町を自分たちが立てた計画にしたがって散策する「自主見学」など、ほぼ予定どおりの内容をこなすことができ、とても充実した三日間になりました。

6年生25名の子どもたちは、目や耳や心をフルに使って函館のすばらしさや特色を感じ、また、あらためて自分たちの住む八戸のよさについても見つめ直すという機会を得たのではないかなと思ったりしました。出発直前の全校朝会では、子どもたちに「“一歩前へ”という気持ちで、旅行を存分に味わってほしい」という期待を伝えたのですが、子どもたちは、わたしが思っている以上のがんばりや活躍を見せてくれ、とてもうれしい気持ちになりました。

その6年生のがんばりや自分の目に映った“成長”の一端を紹介します。



ジンギスカン

① どこに行っても、あいさつが立派！ 返事や反応(受け答え)が立派！

とにかく、どこへ行っても、誰に対しても、あいさつが立派でした。

「よろしくお願いします」「ありがとうございました」など、物怖じせずに張りのある声でなされるあいさつは、行く先々でほめていただきました。バスガイドさんとのやりとりの場面でも、それは発揮され、引率した者としては、鼻が高かったです。

② 行動がてきぱきとしていて、先を見越して動ける子どもたちが多い

学級担任の昆先生は、集合する時には、いつも5分前行動をめやすとして示すのですが、子どもたちは、その10分前には、集合が完了しているのです。もちろん、トイレも済ませて。てきぱきとした行動はまわりにさわやかな印象を与えてくれるのだなと思いました。

③ 協力・思いやりが自然にあふれ出る、男女ともに仲のよいクラス

北海道へ向かう新幹線の中では、子どもたちは、男女関係なくいっしょにトランプをしたりしながら、楽しそうに過ごしていました。自然に譲り合ったり、折り合いをつけたりしているそのようすに、本当に子どもたちの仲のよさを感じたしだいです。「いじめ」という言葉が付け入るすきのないその雰囲気がありがたく思いました。

プール清掃 感謝です!

6月5日(月)のプール清掃の際には、「プール清掃サポート隊」として、18名にものぼる保護



者・地域の皆さまにお手伝いいただきました。

少し寒い中での作業でしたが、おかげさまで、プールの壁面、底面ともに汚れが落ちて、すっかりきれいになりました。学校を支える地域の力をまたまた強く感じました。

心から感謝申し上げます。ありがとうございました。